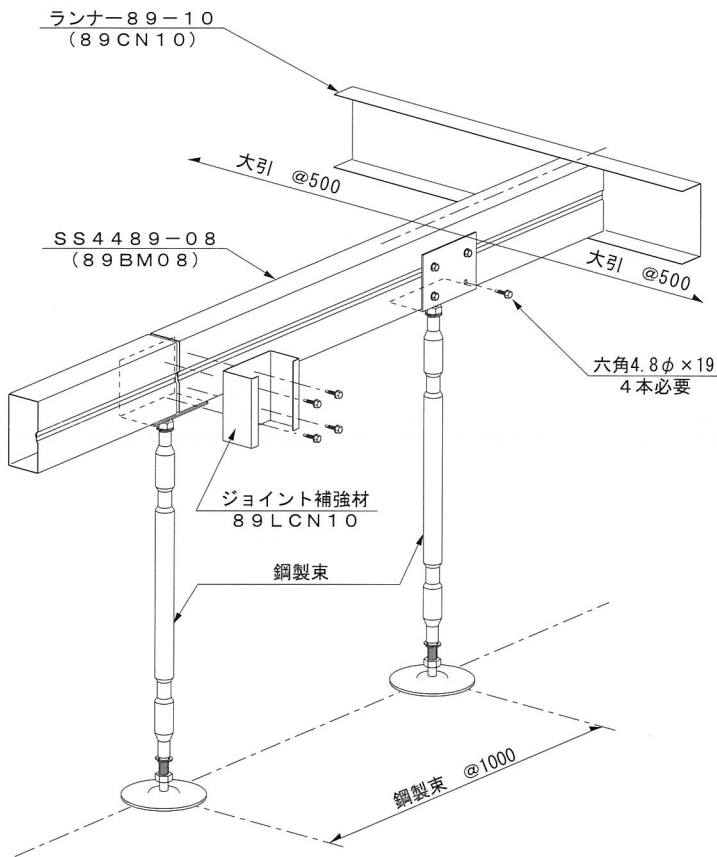


構成部品の使用例



SS4489-08 (89BM08)	ランナー 89-10 (89CN10)
89LCN10 (振れ止め)	鋼製束
SJH-9	
六角4.8φ×19	

特長・性能

1. 木の大引きと異なり長期間の形状安定度が高いため経年変化による床鳴りの危険性が少ない。
2. 構成部材が鋼製であることからシロアリ被害を受けず、防蟻のための薬剤散布も軽減出来ます。
3. 使用される部材がボックス形状のため施工後の歩行感も良好で、十分な満足が得られます。
4. 施工方法が標準化されているので、技量差による施工精度のばらつきが少ない。
5. 高い防錆性の素材を使用しているためさびの心配も少ない製品です。

床下地の施工手順

材 料 の 確 認

- ・部材の過不足が発生しないようカット寸法と使用数量を必ず確認する。
- ・設置する基礎面の上をよく清掃する。

壁際ランナー受けの木 38×89 を外周壁に取り付け

床レベル墨出し

際根太・壁際ランナー 89-10 (89CN10) 取り付け

大引きSS4489-08に  
鋼製束をねじ止めする。(@500)

- ・この時、束に接着剤を塗布しておくこと。

鋼製束ベースプレート底面に接着剤を塗布

- ・振れ止め(89LCN)を事前に配置しておく。(2000mm程度)

大引きを反転させる

89CN10に大引きの片側を差込み、他一方を固定

鋼製束のベースプレートを接地させる(仮調整)

接着材固化後ベースプレートにコンクリート釘打ち込み

- ・SS4489材を利用して水平を確認しながら、ロックナットで調整
- ・作業中の大引きの振れ止めとして天井用ランナーを仮止める。(合板張り時取外し)

大引きが水平になるように鋼製束の高さ調整(本調整)

大引きのジョイント部は鋼製束で受け、  
89LCNのピースを側面にねじ止めする

- ・大引きの下側より振れ止め(89LCN)を取付ける。(本締め)  
(2000mm程度)

大引き下地の検査をする

大引きに接着剤を塗り、合板をねじ止めする